

JABSOMの学生と過ごして

医学科4年 戸次宣史



6/27~7/10の2週間、John A. Burns School of Medicine (JABSOM) 学生がJABSOMでのハワイ大学医学部の2週間ワークショップに参加し、年々4人が本学にやってきました。本学では、毎年ABSO Mでのワークシ



ワークショップに参加させていたただく予定だったので、その学生たちのお世話を担当しました。

彼らは1年生を終わったばかりで、日本での3年生の医学教育が終わったくらい時期だったので、その医学知識には驚きました。しかもその多くを自分で勉強しているというのです。

アメリカでは、4年制の大学を卒業し、その後医学部に進学するというシステムなので、医学部を目指す学生は医学部に進学する前から自分で医学を勉強し、医療ボランティアに参加したりするそうです。今回来ていた学生の中には、医学部に入る前に半年ケニアで医療ボランティアをし、医学の多くを学んだ、と言っていました。また、多くの医学生が下級生の頃から街のクリニックで手伝いをし、医療につい



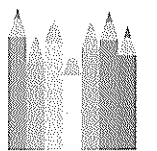
て多くを学んでいるそうです。彼らが本学の医学科3年生を前にPBL(Problem-based Learning、患者の症例シナリオを基にグループ討論し、患者の問題を抽出し解決する訓練)のデモンストレーションを行ってくれた日がありました。僕も時間があつたので見に行つたのですが、やはり普段我々が行っているPBLと比べると、一枚も二枚も上手だったように思われます。4人とも知識がしっかりといるために、皆がよく発言し、討論が盛り上がっていました。普段はPBLの後に、7~8時間くらい自己学習し、さらに知識を深めると言っていました。

彼らと話していると、我々の医学に対する取り組みの不足を痛感せざるをえませんでした。最終日の夕方には、附属医院でElla(フラダンス)を披露してくれました。多くの入院されている患者さん、その家族の方々が観覧され、大変喜んでいただけました。

このような素晴らしい活動に携わることもでき、とても有意義な時間でした。今回このようにJABSOMの学生のお世話を、彼らと関わることができたことは、医学を勉強していく上で非常にいい刺激となり、貴重な経験となりました。毎日彼らの滞在していた思誠館を訪れ、一緒に食事をして週末は一緒に出かけ、多くを語り合い、とてもよい思い出となりました。

来年以降もまたJABSOMの学生が本学に来ると思いますが、ぜひ多くの学生に積極的にこのような活動に参加してほしいと思います。

学生選択実習



基礎選択実習の初日は、OSCEが終わって間もない2月の半ば。風は冷たく、中綿入りのジャケットの襟をいちばん上まで

と、思ったためでした。留学生の院生さんに教養・分画・解析など免疫学の実験の基本操作を幅広く教えていただき

量法のひとつです。原理は勉強したはず、でしたが、わかるのとできるのは大違い。なかなか結果が出ず、丸一日かかる実験を何度も繰り返しました。

教室の行事にも参加させていただきました。特に印象的だったのはマウスのケージ交換です。マウスをケージを開ける、マウスをつかまえる、別のケージに移す。あつという間に使用済みケージの山ができあがります。流れのように進む作業。最初のうちはついて行くのも必死でしたが、マウスを触るのに慣れる良い機会だったと思います。

並行して、先生には、マウスの取り扱い方も教えていただきました。最初は腰が引けてしまい、マウスから噛まれてしまったこともあり

が、。その他にも細胞の培養・分画・解析など免疫学の実験の基本操作を幅広く教えていただきま

ます。ひとつには基礎医学の実験を少しでもやってみてみたいということ。もうひとつは、あまり得意ではなかった免疫学分野を振り返っておきたい

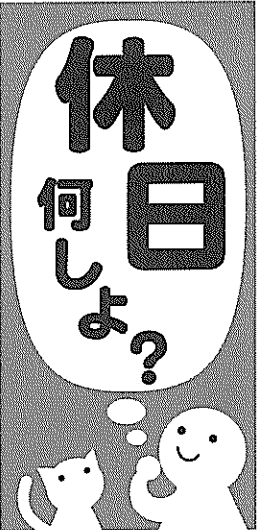
が、。その他にも細胞の培養・分画・解析など免疫学の実験の基本操作を幅広く教えていただきま

指導教員から一言

免疫学の基礎選択実習では学生の希望に応じて実験や論文(英語)読解の計画を立てます。通常の学生実習ではできない継続的な実験や、英文原著の読み方を学習し、医学・生命科学の研究現場を体験できます。基礎選択実習は学生のときに研究に直接触れることができる貴重な機会です。是非、興味ある研究室を訪れてみてください。

実習が終わるころには、寒さはいくぶんやわらぎ、

おります。

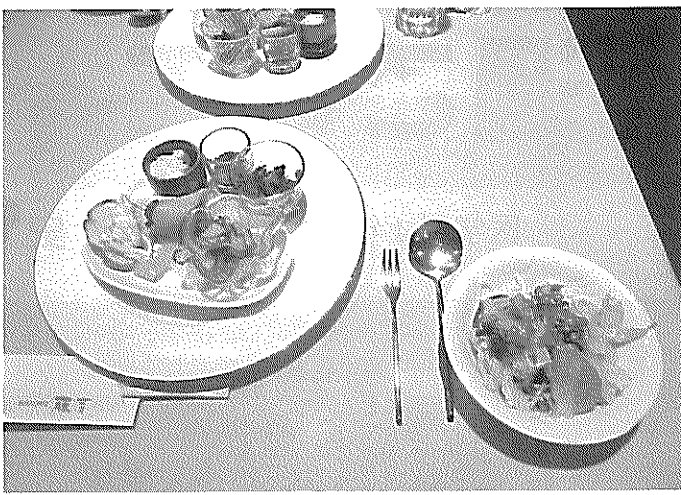


ビストロ藤吉

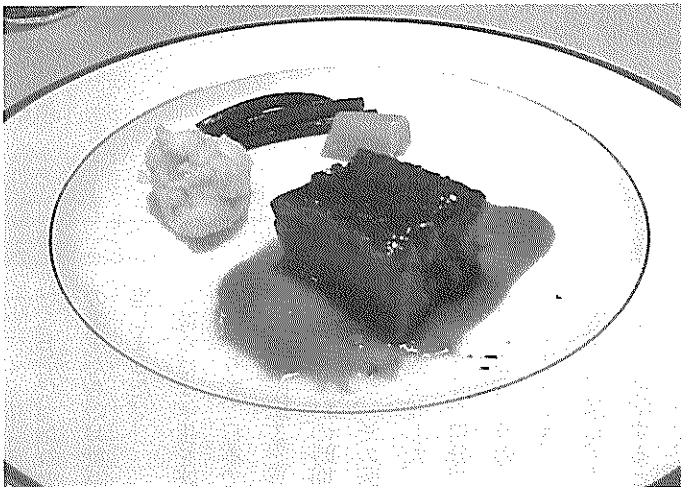
9月初旬、新聞編集委員そろって、高木瀬町にある「ビストロ藤吉」でディナーをいただいていた。お店はダイレックス高木瀬店のすぐそばです。大きな木の看板が目印で、森の中のレストランのような雰囲気のお店です。周りに草木が生い茂る小道を歩き、店内へ入っていきます。

今回皆でいただいたのは、事前に予約をしていた、一人3000円のコース料理です。オルゴールの流れる落ち着いた雰囲気の店内で、まず運ばれてきたのは前菜です。サラダと、スモークサーモン、いくら、たこ、魚の煮つけなどの盛り合わせをいただきました。少しづつ、いろいろな味を楽しむことができます。

次に出てきたオードブルではマグロ、ホタテ、エビといった魚介類をソースにつけていただきます。お刺身のようにですが、お醤油の代わりにドレッシングのようなソースがかかっている事で、洋食として違う味を楽しめておもしろかったです。小さめのお皿に入ったスパゲッティは、そうめんのような細麺に、たらがしつかりからみついて、ピリ辛スパゲッティでした。そして、程良くお腹が満足してきたころにメインの登場です。しかし、ステーキが運ばれてきたものの、ナイフは使用しませんが、お箸で食べることを基本としているようです。



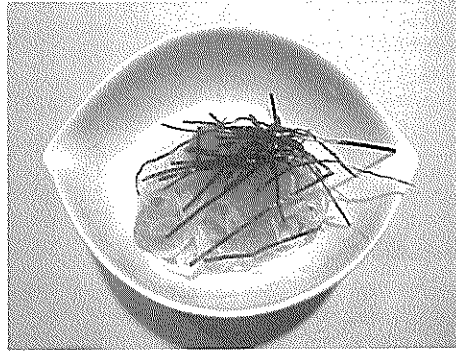
前菜



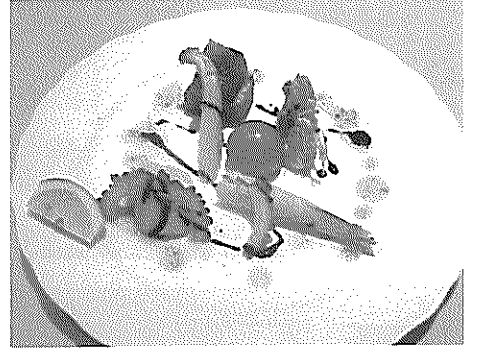
メイン (牛ヒレ肉のステーキ)



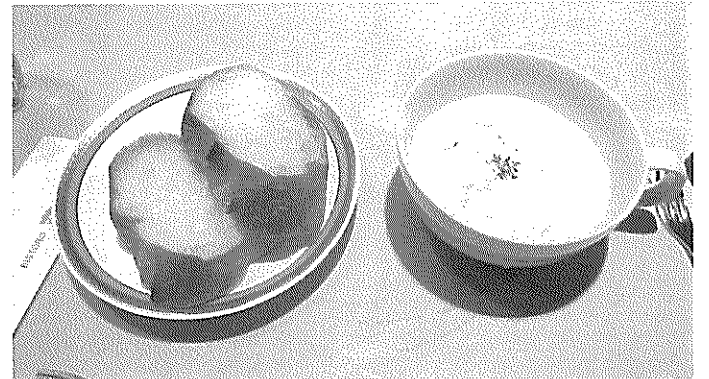
デザート



たらこスパゲッティ



オードブル



スープとパン



新聞編集委員の皆と記念撮影 (戸田先生撮影)

お肉に箸を入れるとスツと一口サイズに切り分けられることができました。見た目では気づきませんが、一口サイズで食べると、あらかじめ切りパイナップルです。アイスは一口目であまりのおいしい感じがして、いしさに感激してしまいました。今まで食べたことのない甘さで、絶品です。

落ち着いた雰囲気の中、食後のデザートは、スイートポテトのアイス、チーズケーキ、メロン、お野菜、魚介類、お肉を一つのコースで味わうことができ、とても楽しい食事会でした。ビストロ藤吉さんは、お手頃価格でおいしいランチもいただけます。皆さんもぜひ、お食事の際はビストロ藤吉へお越しになつてみて下さい。

〈場所〉
佐賀市高木瀬町大字長瀬 982-8
〈営業時間〉
11:00~15:00
17:00~23:00
(L.O. 22:00)
ランチ営業 日曜営業
年中無休
〈駐車場〉
有
〈お問合せ先〉
TEL
0952-33-1070
(野上)

第62回西医体 結果報告

■主幹校：名古屋大学
■競技日：平成22年7月30日(金)～8月16日(月)

テニス	男子	看	シングルス	優勝：大家貴志 (看4)
			団体戦	準優勝
剣道	女子	コメディカル大会	団体	優勝
		メディカル大会	個人	3位：青柳いくみ (医4)
陸上競技	男子	走り幅跳	優勝	
		100m	3位	松岡優毅 (医1)
ボート	総合	準優勝	雷光、神麿	
	男子	準優勝	3位	葉隠
	女子	医 準優勝	Juno (ジュノ)	
		シングル	準優勝：黒木崇子 (医3)	
バレーボール	男子	準優勝		
弓道	女子	個人	3位	佐藤世羅 (医6)



新聞編集委員

戸田修二教授 (編集長)
池田豊子教授、河野史教授
尾崎岩太准教授、藤井可講師
荒川孝範 (学生サービス課)
北村浩晃 (新聞OB、研修医)
川良智美 (医6)、徳田悠希子 (医5)、野上愛、吉田紀子 (医4)、森下さくら、草場香那 (医3)、壹岐聡一朗、合田夏希、鈴木源晟、橋本健太 (医2)
要望などの連絡先
学生サービス課総務主担当 島田
eshimada@cc.saga-u.ac.jp

編集後記

ずっと記憶に残る長く暑い今年の夏。その暑い日々が学生達が準備を重ねた、第32回むつごろう祭が幕を開けようとしていた。様々なエピソードが生まれるハレの日。楽しんでほしい。

今回の天山おろしを担ぐのは、藤井可先生。行、市川雅子、安達のか、稲富万里子さん等であった。このような記事はどうか、連載記事を担当します、という積極的な意気込みで、教師側も授業の時とは別の学生との共同作業の醍醐味を味わったものである。時の流れをひしひしと感じさせてくれる新聞である。

今回の学生たちのアイデアが一杯つまっている。是非一読を！(池田)